

「総会」植樹・見学会を計画 〈倶楽部会費 2,000 円に引き上げ〉

5 月 26 日、中島家（チューリップ公園内）で、平成 24 年の総会を開きました。14 名の参加でしたが、新しい活動計画や、会費の値上げについて意見交換しました。

記念講演は、今泉登希子先生「身近なカイニヨをテーマにした 4 年生の総合学習時間での経験と子供達の変化」を、みずみずしく自然体で報告され、一同沢山共鳴するものを感じました。

× × ×

冒頭柏樹代表幹事が挨拶し（別掲）、天野事務局長から一年間の活動・収支決算・監査報告があり全て承認されました。

又、平成 24 年度の事業計画として①カイニヨ掃除 ②見学会 ③風に強いカイニヨの植樹とその管理の勉強会、等を提案しました。

規約改正案では、①年会費を 2,000 円（現行 1,000 円）にする。（現会費は通信費でなくなる。また、各例会に 500 円参加費として出しているが、それを無料にする）

②賛助会員を設ける。（会の趣旨に賛同される企業等から年会費として一口 5,000 円）
こうした提案を受け、色々意見が出されました。

■主な意見です。

T さん：4/3 大風で大被害を受けた近所の M さん宅は、残ったカイニヨを全て伐採され、丸裸になりました。すると草が繁茂して大変だといってみえる。

当主と息子さんに、風に強いカイニヨ造成案を話し、倶楽部で手伝いたいと打診したら、前向きで応じてもらえた。倶楽部の行事として取り組んだらどうか。

T さん：家のカイニヨと植えてある樹木をゆっくり見てほしいと思ってカイニヨ掃除の例会を引き受けたが、当日は、小雪降る大変な悪天候で、見学会ができなく残念だった。

しかし、すっきり掃除してもらい大感謝。当日、燃やせなかった落枝葉の 3 つの山は数日かかりで始末した。

屋敷内にガマが出てくるのが、この土地の成立を説明できる証人かもしれない。

T さん（奥さん）：小雪の中で隅々まで掃除してもらい本当に感謝でいっぱいです。

屋敷が広がったように感じました。

O さん：会報を楽しみにしてみえる会員もあり、2,000 円にして、あわせて例会会費の徴収をしないなら、それも一つの方法で賛成だ。

H さん：賛助会員にあまりこだわらん方がよい。自前でやれる範囲でやっていくことでよい。

N さん：賛助会員の可能性があるなら、受けられるように規約に加えておくのも良い。

× × ×

以上、提案された 24 年度事業計画と規約改正案が拍手で承認されました。

柏樹代表幹事 挨拶

● 4/3 と 4/27 の 2 回大暴風雨に見舞われた。かつてない大被害が発生した。

カイニヨの大木も砺波市と南砺市で 1,800 本余り倒れた。

「カイニヨとのつき合いはやめた」の大合唱。その中であって「倒木したスギ跡に 3 本ほどスギを植えようと思うが、苗木はないかな」「歯抜け状態の残木は伐って新しい木を植えた」といった声も耳にした。

もっとカイニヨの良さや仕事内容を大声で話していくことが大事だ。

● カイニヨ倶楽部発足 15 年、もとめられていることは活動の中味の工夫、役員の新陳代謝、各種提案等で、みんなで考えあおう。

● 23 年度の活動からの特徴として、

①「カイニヨかべ新聞」のミュージアム展示を手伝い、成功させた。地域からも注目された。

②倶楽部発行「カイニヨへの思い」を全会員に届けた。

市役所の担当者がこの内容に注目し、風対策や、カイニヨの樹種選定に活用。試される機会となった。

● 倶楽部の活動は背伸びせずに、楽しくゆっくりやろう。



総会の様子



平成23年5月1日から平成24年4月30日

「種をまいたら、子供達は走り追っかけるばかり」

— カイニヨと取組んで —

講師 今泉登希子先生

- ・ 自己紹介。砺波に生まれ砺波で育ち、嫁ぎ、チューリップ公園の近くに住んでいる。自宅にはカイニヨは無い。7年間市立南部小学校にいた。4年生の担任として、総合的学習時間を、カイニヨとむき合い、子供達と一緒に学び歩いた。現在は、県総合学習センターに勤務し、新任先生の研修会の裏方をやっている。
- ・ 実際の学習活動のきっかけとして、学校の屋上からまわりの散村をみた。子供達の心をゆさぶり響くものがあった。子供達は色んな疑問を出しはじめた。
- ・ 計画を立てて調べる。「本で調べる」「インターネットの活用」「観察に行く」——家族や地域の人に聞くことに加え、散居村ミュージアムの砂田館長さんを訪ねた。
- ・ 調べたことをまとめ、発信する。学習発表会。かべ新聞（53人全員）にまとめ、沢山のの人に知らせた。
- ・ この授業での先生の思いとして、知識を高めることプラス「人の生き方」から「自分の生き方」を考え加えて行きたい。そこにカイニヨ倶楽部の存在があった。
- ・ 屋敷林の良いところを出しあった。ところがその屋敷林が減っている。これをどう考えるのか。自分はどう考えるのか。カイニヨ倶楽部の人はどう考えているのか。学校にカイニヨ倶楽部の高畑さんがみえるので聞くことにした。
- ・ 先生の思いとして、①学校は誰のもの——地域のもの。②子供が育つのは——自分が知りたいと思うと一生懸命になる。動機が大事。③求められることは——わからないことは地域や家族の人に聞くことから。種をまいたら子供達は走り、おっかけることばかりだ。地域の人のお話しには、眼は輝く。とにかくカイニヨのあることは地域の貴重な宝だ。

短信

○春の「カイニヨ壁新聞」展の作品をまとめ、冊子を作り砺波市内の小学校へ贈った。そのニュースが富山新聞と北日本新聞が報道した。

○カイニヨを中心とした樹木消毒は、今年も各地でおこなわれた。例年より10日間虫の発生がおくれた。第2回目は、虫の動きをみての消毒を6月下旬に。観察のポイントは、樹木の枝葉や生垣にクモの巣がみられたら虫が騒いでいる証拠となる。

○長野県安曇野市の「安曇野の景観と屋敷林を守る会」の馬場代表から、8月下旬「砺波の屋敷林見学会と交流会」を計画している旨の電話があった。役員会で相談し案内等の受け入れを準備することになる。

1) 平成23年度事業報告

・ 5月28日 総会と講演会 演題「カイニヨの楽しみ方」南砺市立福光美術館 館長奥野達夫先生

・ 7月 1日 報告書発行 2010全国屋敷林フォーラム in 砺波平野

テーマ「屋敷林の再発見とその保全・創造」

・ 7月 9日 南砺市土生新カイニヨと香城寺惣堂遺跡と福光監的見学会 16名

平成24年 2月20日から3月20日 児童の「カイニヨ壁新聞展」共催 ミュージアムにて

・ 4月 7日 カイニヨの掃除 武部宅 10名

・ 4月26日 記録書発行「カイニヨ壁新聞展」23冊 先生・学校関係者へ配布

2) 平成23年度決算報告

■ 収入		
項目	金額	備考
会費	83,000	
寄付	10,000	小泉様から
例会残金	2,420	福光見学会1880, カイニヨ掃除450
利息	45	銀行
雑収入	0	
繰越金	444,859	前年度より
計	540,324	
■ 支出		
項目	金額	備考
総会費	6,992	お茶代
フォーラム報告書200冊	290,622	印刷21万, テープ起こし6万, 送料他
児童のカイニヨ壁新聞展と冊子	16,019	23冊, 展示ボード, コピー
通信費	42,560	会報63-66号, 他案内
雑費	35,065	封筒, コピー, HPの維持費
事務費	16,000	天野, 8 高畑, 4 金岡, 4
計	407,258	
収入-支出	540,324 - 407,258	= 133,066 (繰り越し金)

* 中田ちづ子さんから切手1万4千円相当を寄付して頂きました

3) 会計監査報告

5月8日に会計監査をしたところ、適切に処理されていた事をご報告致します

監事 杉森孝一 印

4) 平成24年度事業計画(案)

- ・カイニヨの掃除 ・見学会(砺波近郊・県内と能登や福井などへ)
- ・植樹(風に強いカイニヨを育てる)
- ・カイニヨの維持管理講習会(枝打ちや道具の使い方。樹木の高さを測る) ・他勉強会

5) 規約改正(案)

1. 年会費を1000円から2000円に。

理由は、通信費や雑費で会費が無くなり、例会に500円頂いていますが、参加無料で。

また、県外などの研修会助成に。

2. 会員に賛助会員を設ける。

理由は、一般会員以外で会の支援をいただく。年会費は、一口5000円。